

# いーぶん

● 素敵なパートナーになるために ●

第7号

平成16(2004)年2月

## 特集 ジェンダーについてもう一度考えよう



みなさんは「ジェンダー」ということばを知っていますか。

人は、長い歴史の中で作られた「女の役割、男の役割」を幼いころから学習することで、「女らしさ、男らしさ」を身につけていきます。この文化的・社会的に作られた性差を「ジェンダー」といいます。「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担もジェンダーの一部です。

「女らしく、男らしく」という意識は、持って生まれたものではありません。「女はこうすべきだ」「男はこうあらねばならない」と周囲から要求される結果、態度や行動が狭められてしまうおそれがあるのです。

特集

今のままでいいのかな...

# ジェンダーについてもう一度考えよう

日常生活の中でこんなことはありませんか？



もっとおしとやかに  
しなさい！  
女の子なんだから！



今日はお父さんと  
一緒なのね。  
お母さんは  
どうしたの？



イラスト/後藤明美

...ジェンダーについて...

# 男女(ひと)の声

をもう一度考えよう

1 男女の「差別」はいけないことだと思うが、「区別」ならしても良いのでは？

男女には生物学的・身体的に違いがあります。しかし、例えば家事をする能力は、男女の差ではなく、個人の能力の差です。

憲法は、男女の法の下での平等を保障していますが、現実の社会では、男女に対して異なった扱いをしている場面が多く見受けられます。

区別は差別ではないと、よく言われていますが、区別していく中で無意識に「向き・不向き」、「優・劣」、「支配・従属」の関係をつくりだしていることはないでしょうか。



2 男女共同参画社会では、「ひな祭り」や「鯉のぼり」まで否定してしまうのでしょうか？

男女共同参画社会とは、男女が性別による差別を受けずに、個人として能力を発揮する機会を確保できる社会です。差別による固定的な役割分担を見直して、一人ひとりの意思で多様な生き方を選択できる社会を目指しています。

決して、伝統や文化を否定するものではありません。

3 これ以上、女性が強くなったら困ります。女性の参画を促す必要はないのでは？

「女性の強さ」を考えるときは、公的領域、私的領域に分けて考えてみましょう。

家庭などの私的な領域では、女性が「強い」場合もあるかと思いますが、国会議員や会社の管理職など、公的な領域では、女性の参画がまだまだ少ないのが現状です。身近な町内会やPTAを例にとっても、実際に活動しているのは女性なのに、役員は男性ということが多いのではないのでしょうか。

国際的に見て、日本は平均寿命や教育の面では高い水準にありながら、社会の表舞台に女性があまり出てこないという傾向があります。

男女共同参画では、住民の半数である女性が、公的な領域にもっと参画できるように働きかけています。



4

子どもを育てる時に、男の子には積極性・強さ・勇気などを、女の子には優しさ・素直さ・気配りなどを身につけさせたいと思うのですが.....

「らしさ」に代表される「ジェンダー(社会的性差)」は、出産機能のような生物学的な性差とは違い、後天的に身につけるもので、時代や国や社会変化に伴って変わっていくものです。

一般的に「期待されている」男らしさや女らしさのイメージは、男女問わず誰が持ってもよい性質です。今は性差に結びついたイメージになってしまっていますが、よい性質であれば男の子・女の子の両方に期待するものではないでしょうか。

5

「男は仕事、女は家庭」が理想ではいけませんか？

男女共同参画社会は、個性を活かしたさまざまな生き方が選択できる社会です。ですから、個人として仕事や家庭に重点を置くことはもちろん自由です。

しかし、すべての人に対して「あなたは男だから仕事をするべき」「あなたは女だから家庭に入らなければ」と性別によってその役割を固定的に考えてしまうこと(性別による役割分担意識：ジェンダーのひとつ)は、個性を重んじることなくお互いの行動を制約し、多様な生き方の選択を狭めてしまうおそれがあります。



## 編集後記

『いーぶん』第7号をお届けします。

発行に当たり、ご協力いただいた皆様方に厚くお礼申し上げます。

編集協力者/岡西 よし子、横井 秀子、吉田 和江、伊藤 孝司

編集・発行/一宮市企画部企画政策課

〒491-8501 一宮市本町2-5-6

TEL 0586-73-9111(内線2113)

FAX 0586-73-8034

eメールアドレス kikakuseisaku@city.ichinomiya.aichi.jp

ホームページアドレス <http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/>

\* 企画政策課のホームページでは、過去に発行した『いーぶん』のバックナンバーがご覧いただけます。

「いーぶん」に対する  
ご意見・ご希望を  
お寄せください。

